

総務文教委員会

4月21日～23日

市民みんなが集う広場

〔長野県水鏡市〕

商業施設の郊外移転による中心市街地の空洞化等を解消すべく、コンパクトシティを目指して、市役所敷地一帯での、公的病院、市庁舎、図書館、駐車場などの整備に着手しています。

【所感】笠岡市との類似点も多く、市民主導のまちづくりがいかに早くスタートするかが重要だと感じました。

市民エネルギーあふれる街

〔富山県高岡市〕

富山県第二の都市ですが、今春の北陸新幹線の開通による観光客の流れは、金沢市に集中しています。全地域の活力維持のためシニア層に着目し、リタイアした後の経験やエネルギーを地域社会に再活用しようとする構想を打ち出しています。

【所感】今後のまちづくりにおいてもシニア層の活躍が、カギを握っていると考えます。

参加議員

藤井義明 竹原泉 天野喜一郎
大本益之 金藤照明 原田てつよ
樋之津倫子 山本俊明

市民支援型型千二世紀美術館

〔河内県金沢市〕

ガラスで囲まれた円形の建物で、四方にある入り口のどこからでも入館・通り抜けができ、金沢市民は公園のように利用しています。建築の際は、歴史・伝統尊重にこだわるべきとの意見もありましたが、「新しい文化の創造」と「新たなまちの賑わいの創出」を目的に開設された市民参画の交流型の美術館でした。

【所感】竹番美術館もスペース等制限がありますが、市民にとつてより身近な美術館になるように期待します。



小諸市での視察の様子

建設産業委員会

5月12日～14日

潜在魚種でブランド化

〔富山県魚津市〕

寒ブリなどの高級魚と一緒に大量に取れていた、ウマズラハギは富山県では好まれていませんでしたが、水揚げ後の管理方法や調理方法を改善し、関西方面への出荷や刺身・ファーストフード化で消費量を拡大しブランド化に成功しています。

【所感】笠岡市のブランドは何かを探求し、道の駅等への集客を上手く周辺へ波及するべきと感じました。

念願だった南北自由通路

〔駅前整備事業 新潟県糸魚川市〕

北陸新幹線の開業に伴い、糸魚川駅と周辺整備事業が進み、南北が遮断されていた駅周辺は自由通路の完成で便利になっています。また、日本海に一番近い新幹線駅としてPRし、全国で初めて駅舎内にジオステーションを併設し集客しています。

【所感】笠岡駅も東西南北のゾーニング計画をまとめ、港と駅を結ぶ動線整備は必要と考えます。

参加議員

田口忠義 東川三郎 栗尾順三
齋藤一信 齋藤重雄 坂本公明
妹尾博之

農業で定住・農繁期のお手伝い

〔長野県飯山市〕

農業に従事する人たちの定住を進めるため、安価な住宅（借家）を提供し、交流センターを併設しています。てんだい（手伝い）倶楽部を開設し、農繁期の労働不足を短期契約で補っています。

【所感】空き家・古民家を活用した営農施策や農業器械の貸し出し等のサポート体制、農繁期の人材バンクで農業の活性化と就活を考えていきたいです。



糸魚川駅ジオステーション